

# あ げ あ

あなたにほんきをおくるまじ



上尾市

## 主な内容

市長の提案説明	2～3ページ
委員会の主な審査内容、討論	3～6ページ
提出議案とその結果	7ページ
市政に対する一般質問	8～15ページ
今議会で決まった人事	15ページ
委員会活動、意見書	16ページ

# 議会 だより



かいっぱい元気に「ハッ！」(市内幼稚園)

## 平成26年9月定例会日程

- 8月29日 …… 開会、議案の上程、提出議案の説明、議員提出議案の上程・説明、監査報告
- 9月3日 …… 提出議案に対する質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
- 9月4日 …… 総務・都市整備消防常任委員会
- 9月5日 …… 文教経済・健康福祉常任委員会
- 9月9日 …… 一般質問
- 9月10日 …… 一般質問
- 9月11日 …… 一般質問
- 9月12日 …… 一般質問
- 9月19日 …… 委員長報告、討論、採決、議案第70号の上程、提出議案の説明、採決、議員提出議案の上程、討論、採決、閉会

第169号

平成26年(2014)  
11月号

発行/上尾市議会  
編集/議会報編集委員会  
〒362-8501  
埼玉県上尾市本町3-1-1  
電話048-775-9467

**9月定例会**  
**一般会計補正予算など**  
**24議案を可決**



9月定例会で提案説明する島村市長（後ろは矢部議長）

**市長の提案説明から**

○上尾市一般会計補正予算

今回の補正予算については、予防接種事業の定期接種化への対応や通所型介護予防事業の拡充を図るとともに、友好都市協定を締結している福島県本宮市との友好関係のさらなる推進を図るほか、当初予算編成後の状況の変化を踏まえ編成したところである。その結果、補正額は9934万円となり、累計予算額は579億23万円となる。

つた。

〈主な事業〉

総務費の「上尾市・本宮市友好交流事業」は、両市のさらなる友好関係の推進を図るため、昨年7月31日に婚約した両市のイメージキャラクター“アップピー”と“まゆみちゃん”の結婚式を、あげお産業祭開会式終了後に挙げる予定である。

民生費の「介護保険特別会計繰出金」は、当初予算において、介護予防の観点から参加者数の増加を図るためコースを通年化し、メ

9月定例会で審議した議案は、市長提出議案および諮問が29件、議員提出議案6件で、このうち決算認定議案などの7件を除く24件を原案のとおり可決・同意・異議なき旨答申し、4件を否決しました。

ニューを拡充した通所型介護予防事業を実施しているが、大変好評であることから、カラオケ講座、タブレットやパソコンを活用した水彩画講座を新設するためのものである。

衛生費の「予防接種事業」は、

幼児の水痘ワクチンおよび高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種化に対応するものである。幼児の水痘ワクチンは、これまで任意接種であったが、政令の改正により、原則、1歳および2歳を対象とした定期接種が制度化されたことに伴い、無料でワクチン接種を実施するものである。また、高齢者肺炎球菌ワクチンは、これまで接種日現在75歳以上を対象に本市独自で補助事業を実施してきたが、政令の改正により65歳での定期接種が制度化され、経過措置により今年度中に65歳、70歳および75歳となる方が新たに対象となることに伴い、対象者を拡大しワクチン接種に対する補助を実施するものである。

以上が主な事業であるが、これらを賄う財源としては県支出金、繰越金などを見込んでいく。

○上尾市国民健康保険特別会計補正予算

社会保障・税番号制度に対応するためのシステム改修および埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業として実施する生活習慣病重症化予防対策事業を開始するものである。

○上尾市介護保険特別会計補正予算

平成25年度の介護保険事業費の精算と、通所型介護予防事業の拡充を図るものである。

○上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算

社会保障・税番号制度に対応するためシステム改修を行うものがある。

○条例その他

町の区域を新たに画することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定については、上平第三特定土地区画整理事業の施行区域内において新たに町の区域を画することに伴い、関係条例について所要の改正を行う必要があるため、提案する。

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定については、「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進



及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の題名が改められることに伴い、当該法律を引用している条例を改正する必要があるので、提案する。

**上尾市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定**については、母子及び寡婦福祉法の題名が改められることに伴い、当該法律を引用している上尾市福祉事務所設置条例を改正する必要があるので、提案する。

**上尾市保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定**については、子ども・子育て支援新制度において、法令に教育・保育給付の支給要件が規定されたことから、保育の実施基準を定めた市条例を廃止したいので、提案する。

**上尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定**については、子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めたいので、提案する。

**上尾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定**については、児童福祉法の一部改正に伴い、放課後

## 決算特別委員会を設置

議会では、委員 7 人で構成する決算特別委員会を設置し、平成 25 年度各会計歳入歳出決算認定議案などの 7 件を閉会中の継続審査としました。

委員会では、予算の執行状況などを審査し、結果は 12 月定例会で報告することになりました。

委員 長	小林 守利 (新政クラブ)
副委員 長	箕輪 登 (新政クラブ)
委 員	斉藤 哲雄 (新政クラブ)
委 員	町田 皇介 (上尾政策フォーラム)
委 員	鈴木 茂 (上尾政策フォーラム)
委 員	新井 金作 (新政クラブ)
委 員	橋北 富雄 (公明党)

※議席番号順。



決算特別委員会の様子

児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めたいので、提案する。

**上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定**については、重度心身障害者医療費の支給対象者として、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者で障害等級 1 級の障害を有するものを新たに加える等の改正を行いたいので、提案する。

**上尾市介護予防事業手数料条例の一部を改正する条例の制定**については、通所型介護予防事業において新たに介護予防の観点から効果があると認められる事業を実施するに当たり、当該事業を利用し

た場合に徴収する手数料の額を現行の実施事業における徴収額と同額に定めたいので、提案する。

**市道路線の認定**については、寄附を受けた私道および都市計画法第 40 条第 2 項の規定に基づき市に帰属した道路を市道路線として認定したいので、定めるところにより提案する。

**住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法**については、上平第三特定土地区画整理事業の完了により、大字西門前の一部の区域を住居表示実施区域である緑丘四丁目に編入することに伴い、当該区域について住居表示を実施したいの

で、提案する。

### 委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案の審査および調査を行いました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

#### 総務常任委員会

**補正予算**  
**アップシーとまゆみちちゃんの結婚式を挙行**

〈メモ〉友好都市協定を締結し

た本宮市との友好関係をより一層深めるため、市のイメージキャラクターであるアッピーとまゆみちやんの結婚式を挙げるための予算を計上。

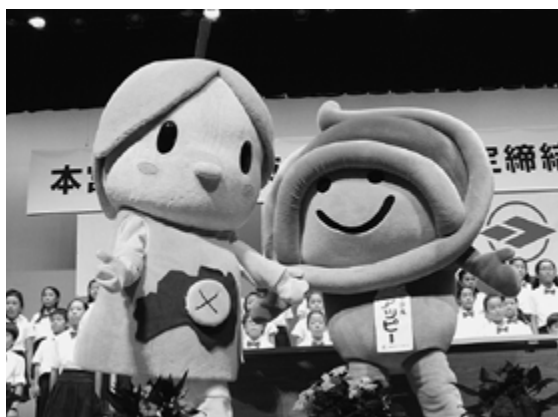
**委員** 市は、シティセールスの中で、今後、アッピーをどのように活用していきたいのか。その中でこの結婚をどう位置付けたいのか伺いたい。

**答** この結婚は、ゆるキャラ同士の結婚という一時的なインパクトで終わらせるのではなく、将来的には、子どもの誕生や成長を通じて、シティセールスの核とすることができると考えている。今後、市のさまざまな施策やイベントでアッピー一家を活用し、シティセールスを行っていききたい。

**委員** 結婚式の記念品であるチョコレートは、一個当たりいくらか、どのように配るのか伺いたい。  
**答** チョコレートは、アッピーとまゆみちちゃんが写ったもので包装し、結婚式の会場で子どもたちに配布する。値段は1個60円である。

**委員** カップルが座れるベンチの製作は、ボランティアの方々へ公募するなどの方法を考えなかったのか伺いたい。

**答** 結婚記念ベンチは、アッピーとまゆみちちゃんが描かれたものを貼りつける作業があるため、市内の専門業者に依頼することを考えている。



本宮市との友好都市協定での婚約式(昨年7月25日)

**条例改正**  
**いじめ問題対策連絡協議会設置に関する条例制定**

**〈メモ〉** いじめの防止について、総合的かつ効果的に対策を推進するため、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ問題調査委員会などを設置する。

**委員** いじめ問題調査委員会委員は、教育委員会が委嘱し、再調査委員会は、市長の諮問に応じ必

**文教経済常任委員会**

要な調査を行うことになるが、教育委員会と市長の連携について伺いたい。

**答** 教育委員会の附属機関であるいじめ問題調査委員会は、学校での調査が困難な場合や重大な問題について調査を行う。市長がさらに調査の必要があるとした場合、市長の諮問のもとで再調査委員会が調査を行うことになる。問題調査委員会が調べたものとは別の視点から、調査・報告を行うという二重の対応の形になっている。

**委員** 連絡協議会や調査委員会の開催回数について伺いたい。

**答** 連絡協議会については、各学期1回で状況を確認しながら進めていく。調査委員会については、年度始めに、委員を委嘱し、重大事態が発生した場合には、その調査のため、10回ほど開催する予定である。

**都市整備消防常任委員会**

**財産の取得**  
**消防ポンプ自動車、救急自動車を購入**

**〈メモ〉** 西消防署に配備されている水槽付消防ポンプ自動車、平方分署に配備されている高規格救急自動車を新車に更新する。



水槽付消防ポンプ自動車

**委員** 車種別の更新期間について伺いたい。

**答** 更新期間に法令の定めはなく、それぞれの消防本部で基準を設け更新している。市消防本部では、ポンプを積んでいる車両は、15年経過後に更新することとしているため、水槽付消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、化学車は15年経過後とし、救急車は、9年経過後の更新となっている。

**委員** こうした財産の最終処分方法について伺いたい。

**答** 処分車両の大部分は、新規車両を契約している業者に解体処分を依頼している。要望があれば、各種団体を通じて途上国へ寄贈することもある。昨年度には、「NP



○法人共生フォーラム」からの依頼により、消防団第5分団の車両をカンボジアに寄贈している。

**健康福祉常任委員会**

**条例改正  
児童福祉法の一部改正  
に伴う基準条例の制定**

〈メモ〉児童福祉法の一部改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める。

**委員** 条例制定により、現在の保育施設にどのような影響があるか伺いたい。

**答** 現在の家庭保育室が、小規模保育事業に移行できる施設に当たる。条例制定により運営費の公費が増えることになり、施設は安定した運営ができる。また、利用者には、今まで保育料の負担軽減を受けていたが、始めから所得に応じた保育料を施設に支払うことになる。

**補正予算  
ワクチンの定期接種に  
かかる費用を計上**

〈メモ〉予防接種法施行令の一部改正に伴う水痘ワクチンと高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種にかかる費用を計上。

**委員** 対象となる2つの予防接

**会派の変更など**

平成 26 年 7 月 24 日付けで、深山孝議員が無会派になりました。

**各委員会委員の変更**

以下の委員会の正副委員長に変更がありました。

**都市整備消防常任委員会**

◎齊藤 哲雄 ○小川 明仁

**議会報編集委員会**

◎星野 良行 ○小川 明仁

また、議会運営委員会の委員の構成に変更がありました。

**議会運営委員会**

◎嶋田 一孝	○長沢 純
箕輪 登	町田 皇介
新井 金作	渡辺 綱一
田中 守	橋北 富雄
秋山かほる	糟谷 珠紀

※◎は委員長、○は副委員長。

※議席番号順。

種の違いについて伺いたい。

**答** 水痘は、A類疾病で、集団感染をおこしやすく、予防接種を無料で行っている。また、肺炎球菌や高齢者のインフルエンザは、B類疾病で、予防に重点をおいた個別予防接種であるため、自己負担がある。

**市長提出議案に  
対する反対討論**

**要旨**

平成 26 年度上尾市一般会計補正予算について、「上尾市・本宮市

友好交流事業」の両市キャラクターの結婚式という発想はユニークであり反対するものではないが、ペンチの購入やチョココレートの配布などは、費用をかけない方法で

検討できると考え反対する。

平成 26 年度上尾市一般会計補正予算、平成 26 年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算、平成 26 年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算について、社会保障・税番号システムの整備にかかわる費用は、マイナンバー制度施行の整備のための国庫補助金であり、個人情報情報の流失などが危惧されるので反対する。

上尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について、制度の実施主体は市町村で、関係条例を急いで整備し、さまざまな準備手続きを開始しなければならぬが、政府自体が、当初示

**議会を傍聴してみませんか**

議会は公開となっていますので自由に傍聴することができます。本会議場の傍聴席は一般用が56席、車いす用が2席あります。傍聴を希望する場合は、議会開会中に市役所議会棟5階の傍聴

⇒議会事務局(Tel 775-9467)



したスケジュールどおりに進められていないのが実態で、延長保育の扱いなど依然として不透明なところが多く残されている。また、利用者と保育事業者との直接契約を起点にするため、市町村は保育の契約に介入することができなくなり、保育事業者への市町村の責任が後退する。利用する保育施設が上乗せ徴収することによって保育料が違ってくることも想定されるなど、新たな制度は、保育の質・内容の格差の問題・保育料など保護者にとって、不安要素がたくさんあることから国が定めたたとりの市の条例案に賛成できない。

上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条

例の制定について、0～2歳児までは死亡事故が多く、小学校では、学習障害や注意欠陥・多動性障害の子どもたちが増加傾向にある。市は、安全に配慮し、基準を厳しくして、よい保育を実施すべきと考えるので本議案に反対する。

上尾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について、国の基準が変われば、定員が多い大規模学童の問題が解消されると期待していたが、市は当面、現状のまましていく方針である。条例どおりの学童保育を実施するために、市は努力する必要があると考え本議案に反対する。

上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について、65歳を過ぎて障害者になった人の医療費の一部負担金を支給しないこととする本議案には反対する。

上尾市介護予防事業手数料条例の一部を改正する条例の制定について、介護予防は、将来の医療費や、介護保険の出費を抑えるための事業である。受益者は市で、介護保険料を支払っているのは多くの市民である。介護予防事業に低所得者が参加する際の配慮が必要

だと考え、一律に料金を徴収する本議案に反対である。

請願に対する賛成討論

要旨

「憲法解釈の変更によって集団的自衛権行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書」の提出を求める請願について、安倍内閣は、今回の閣議決定を根拠に来春の通常国会で自衛隊法など関連法案を一括して変える構えであると報じられている。多くの市民は閣議決定を撤回させようと声を上げており、上尾市議会でも請願の趣旨を受け止め、国に意見書を提出することは必要であるので賛成する。

全員協議会を開催

～上尾市・伊奈町消防広域化について～

8月29日に全員協議会が開催されました。会議では「上尾市・伊奈町消防広域化」の経緯や概要、協議会の組織などについて、執行部から説明がありました。その後、議員から、意見、要望等がありました。

議第11号議案「上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」

9月定例会において、糟谷珠紀議員から議第11号議案が提出され、健康福祉常任委員会に付託されました。

採決の結果、賛成3名、反対25名で否決されました。

提案説明から

保育の質と施設面に十分な安全基準を設け、良質な保育を提供するため、小規模保育事業所B型(保育所分園と家庭的保育の中間的なもの)、小規模保育事業所C型(家庭的保育に近いもの)の全ての職員を「保育士資格者」とし、満1歳以上満3歳に満たない幼児に対する保育士の配置を市長提案の「おおむね6人に1人」から「おおむね5人に1人」とする。

委員会審査から

委員 すべての職員に保育士資格を必要とした場合、変更が必要となる施設はあるか。また、その場合、施設は何カ所あるか伺いたい。

答 資格のない保育従事者は、資格のある者に代わるなどの影響

があると考えられる。市内には16カ所の家庭保育室があり、職員全員が保育士の施設は3カ所である。また、事業所内保育所は5カ所あるが、全員が保育士の施設は1カ所である。

委員 全員が有資格者との要件は、保育士資格者の数が少ないことから、現実的には難しいのではないか。

答 保育士資格者が不足していると言われていたが、保育士資格を取得しても、保育士にならない人や、保育士の資格はあるが、従事していない人も多く存在する。

賛成討論

要旨

新制度では、小規模保育事業B型は半分以上を保育士とするが、障害のある子や力の弱い子たちを個別に対応し、総合的に対応できるのは、国家資格の保育士である。保育士が3分の1でよいとされている認可外保育所での死亡事故率は、認可保育所より非常に高い。保育に格差を持ち込まず、質の向上、安全を最優先にするために議第11号議案に賛成する。

## 平成 26 年 9 月定例会提出議案とその結果

## ◎市長提出議案 (29 件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	政策	公明	共産	無党派
議案第 43 号	平成 25 年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第 44 号	平成 25 年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第 45 号	平成 25 年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第 46 号	平成 25 年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第 47 号	平成 25 年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査					
議案第 48 号	平成 25 年度上尾市水道事業会計決算の認定について	継続審査					
議案第 49 号	平成 25 年度上尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査					
議案第 50 号	平成 26 年度上尾市一般会計補正予算(第 2 号)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 51 号	平成 26 年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 52 号	平成 26 年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 53 号	平成 26 年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 54 号	町の区域を新たに画することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 55 号	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 56 号	上尾市いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 57 号	上尾市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 58 号	上尾市保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 59 号	上尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 60 号	上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	△	○	×	○
議案第 61 号	上尾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	△	○	○	○
議案第 62 号	上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	△	○	×	○
議案第 63 号	上尾市介護予防事業手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	△	○	○	○
議案第 64 号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 65 号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 66 号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 67 号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 68 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○
議案第 69 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○
議案第 70 号	教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき 旨答申	○	○	○	○	○

## ◎議員提出議案 (6 件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	政策	公明	共産	無党派
議第 11 号議案	上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案否決	×	△	×	○	×
議第 12 号議案	新型輸送機 MV22 オスプレイ飛来中止と配備撤回を求める意見書	原案否決	×	△	×	○	×
議第 13 号議案	集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書	原案否決	×	△	×	○	×
議第 14 号議案	消費税 10% への引き上げをしないことを求める意見書	原案否決	×	△	×	○	×
議第 15 号議案	「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第 16 号議案	軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○

## ◎請願 (1 件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

請願番号	件名	議決結果	新政	政策	公明	共産	無党派
請願第 24 号	「憲法解釈の変更によって集団的自衛権行使を容認する閣議決定の撤回を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	×	△	×	○	×

※新政=新政クラブ(14人)、政策=上尾政策フォーラム(7人)、公明=公明党上尾市議員(5人)、共産=日本共産党上尾市議会議員団(3人)、無党派(1人)



市政に対する  
一般質問

ここが問題  
そこが  
聞きたい

Q&A

9月定例会の一般質問は、9月9・10・11・12日の4日間行われ、20人の議員が、市政全般61項目にわたって市当局の見解を求めました。

また、4日間で257人の皆さんが議会を傍聴しました。

一般質問の主な内容は次のとおりです(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)。

◆環境産業



新政クラブ  
野本 順一

空き店舗対策と商店街の活性化は

**問** 市内には、多くの空き店舗や、入居していない新築マンションの貸店舗などがある。この空き店舗を活用し、若い起業家にチャンスを与えることが必要であると考える。新規開店を目指す人を対象に開業準備の講習会を行い、賃借料を一部補てんするチャレンジショップについて、市の見解を伺いたい。また、商店街の活性化を、今後どのように進めていくのか対策を伺いたい。

**答** 空き店舗対策として、チャレンジショップという手法がある。

これは、経営のアドバイスや賃借料の一部を補助するなど新規開店を目指す人を対象に支援を行うというものである。実施する場合、建物所有者の意向などさまざまな課題があり、まちづくりの観点から他市の状況や事業効果などを注視していく必要があると考えている。また、市では、商店街の活性化対策やにぎわい創出のため、商工会議所などと連携して、まちゼミ、まちバルなど、さまざまなイベントを企画して実施している。商店街の活性化は、大型店の出店がある中での難しい課題であるが、今後、市としては、産業振興会議の「地産地消とにぎわいづくり」部会で議論し、検討していく。

◆その他の質問

- ・ 放置自転車
- ・ 芝川について
- ・ 歩道整備について

◆消防防災



新政クラブ  
小川 明仁

消防の広域化の利点は

**問** 現在協議している伊奈町との消防広域化について、広域化をすることによる上尾市の利点について伺いたい。

**答** 広域化による利点として、二つあると考える。一つ目として住民サービスの向上に直接つながる救急体制の強化が挙げられる。広域化により市町境がなくなること、現在の伊奈町消防署から出動した救急車の方が、現場到着までの時間が早くなる地域が生まれるという効果がある。一例として、高崎線東側の東消防署管内の救急車が全て出動している場合には、現在の伊奈町消防署から救急車が出動することで、高崎線西側の西消防署管内の救急体制を維持することが可能となる。

二つ目として効率的な財政運営を視野に入れた消防力の強化が挙げられる。第5次上尾市総合計画の実現に向けて、耐震基準の問

◆福祉



上尾政策フォーラム  
鈴木 茂

重層的な高齢者生活支援サービスの提供を

**問** 予防給付のうち介護予防訪問介護、介護予防通所介護が、地域支援事業に移行される。今後、市では、要支援1・2でデイサービスや訪問介護を利用していただく方について、どのように対応するのか伺いたい。また、高齢者の在宅生活を支えるためには、ボランティア、NPO、民間企業との多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築が必要であると考えるが、市の見解を伺いたい。

**答** 改正介護保険法では、予防給

題も含め老朽化が著しい原市分署の建て替えを考慮した場合には、消防広域化運営計画の中で適正配置し、国の財政支援を有効に活用することで、財政的負担の軽減に大きな効果があると考えている。

◆その他の質問

- ・ 文化事業を通じた地域振興について



付により提供しているデイサービスと訪問介護を地域支援事業に移行する。利用者の必要性に応じ、介護事業所による訪問介護や通所介護、NPO法人や民間事業者による生活支援サービスやミニデイサービスなどを提供することになる。今後は、地域の自主性や主体性を生かしながら、生活支援サービス提供体制を作り上げることが重要であり、そのため社会資源の調査、実態把握を行う。また、高齢者自らがその支援の担い手となることで、生きがいや介護予防につながる仕組みづくりも検討し、市が中心となって関係機関と連携を図り、推進していく。

～その他の質問～

- ・生活保護世帯教育支援事業
- ・子ども・若者相談センターについて他



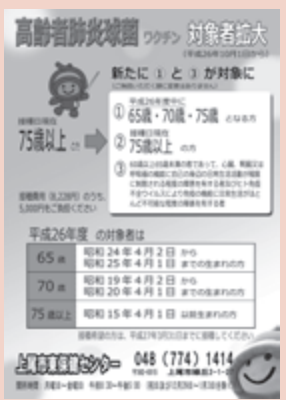
公明党上尾市議員  
橋北 富雄

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の周知徹底を

**問** 肺炎球菌ワクチンは、90種類以上の型がある肺炎球菌のうち、23種類に対して予防効果を発揮し、重症化しやすい肺炎球菌による肺

炎全体の8割以上を抑えることができる。また、一度接種すれば、有効期間が5年以上持続する。市では、10月1日より75歳から65歳に引き下げて、5歳刻みで接種できるようにするが、一人も漏れなく肺炎球菌ワクチンを接種できるようにするための周知の徹底について、市の見解を伺いたい。

**答** 高齢者肺炎球菌ワクチンの周知については「広報あげお」、市ホームページ、市内医療機関などでのポスター掲示のほか、保健師が各地区を訪問する際に周知を図るとともに、リーフレットを全戸回覧するなど広く周知を図る。また、本年度については、年度の途中での制度移行であり、6カ月の



高齢者肺炎球菌ワクチンの対象者が拡大されました!!



「高齢者肺炎球菌ワクチン」のリーフレット(右側)

間に接種しなければならぬ人もいることから、新たに接種対象となる65歳と70歳の市民へは、個別に通知することを考えている。

～その他の質問～

- ・障がい者に優しい公共施設について
- ・教育委員会制度の今後について



上尾政策フォーラム  
浦和 三郎

障害者優先調達推進法の概要と市の対応は

**問** 平成25年4月より、障害者優先調達推進法が施行されたが、この法律の概要と、市の対応について伺いたい。

**答** 障害者優先調達推進法とは、障害者就労施設等や在宅で就業する障害者の経済的自立を進めるために、国や地方公共団体等の公的機関が、物品やサービスを調達する際、障害者就労施設などから優先的、積極的に購入することを推進する法律である。市では、上尾市障害者優先調達推進方針を策定し、市ホームページなどにより周知を図ったところである。また、各部署での発注可能な物品、サービスを十分に検討し、各障害者就

労施設で提供できる物品、サービスの情報を収集し全庁的に発信して購入を推進した。市内障害者就労施設への発注状況は、市制施行55周年記念事業の式典記念品、金婚式・ダイヤモンド婚式、100歳高齢者記念品として、手作りジャム・クッキーの詰合せ、紅白まんじゅうなどであり、平成25年度の調達実績は1053万789円で、調達目標は達成されている。今後は、発注したい物品、サービスを調査し、それを障害者就労施設側に提示していくことで、新たな調達を掘り起こしていきたい。

～その他の質問～

- ・自治意識について
- ・安心安全な街づくりについて



障害者就労施設(上平事業所)での菓子生産の様子



公明党上尾市議団  
道下 文男

複数の障がい者がいる世帯の支援を

**問** 家族に生活サポート事業利用者が複数いる場合、家族の負担はとて大きい。ひと家族に複数の利用者がいる場合の利用料の補助について、早急に対応を考える必要があると思うが、市の見解を伺いたい。

**答** 生活サポート事業は、平成10年度に埼玉県障害児（者）生活サポート事業として制度化された。本事業は、在宅の心身障害児（者）の地域生活を支援するため、身近な場所において障害児（者）とその家族の介護需要に応じて、障害児（者）に対する一時預かり、送迎、外出介助などのサービスを提供している。8月現在、利用者が複数いる家族で、生活サポートの登録をしている世帯は市内に14世帯ある。本事業において、複数の障害児（者）のいる世帯の負担軽減を図ることは重要であると考えており、県に対して制度化の要望をしていくとともに、どのようなやり方ができるのか、今後、財源確保

も含め検討していきたいと考えている。  
〜その他の質問〜

- ・市民の健康寿命推進施策について
- ・市民との協働による街づくりについて



日本共産党  
上尾市議会議員団  
糟谷 珠紀

平等で豊かな乳幼児期を保障する保育新制度に

**問** 子ども・子育て支援法の新制度は自治体の裁量が大きくなるため、保育・子育て政策をどのようにデザインするかは、市が今より

子どものため、市民のため、という立場で事業計画をつくり進みさせていくことが大切である。市の計画には、基本理念に公的責任、保障、児童福祉法第24条の市の実施義務がしっかりうたわれるのか伺いたい。また、市の保育実施責任のもとで、保育所の認定申請や利用申し込みは、市が調整を行うこととしているが、利用者の希望に合った調整が行われるか伺いたい。

**答** 子ども・子育て支援法は、児童福祉法など子どもに関する法律の施策に基づき、一人一人の子ど

もが健やかに成長することができ社会的実現に寄与することを目的としている。関連する法の理念を踏まえ、市の子ども子育て会議で協議している。保育が必要と認定された子どもが保育所、認定こども園、特定地域型保育事業を利用するには現行の保育所入所申請と同様に、利用調整の前提となる保護者の希望先を伺い、市が調整を行う。

〜その他の質問〜

- ・高齢者の実情に沿った介護保険制度に他

◆都市整備



新政クラブ  
新井 金作

上尾道路開通の見通しは

**問** 7月23日、国土交通省の記者発表があり、上尾道路の開通見通しの変更が正式に発表された。現在、小敷谷地区、畔吉地区、領家地区の上尾道路予定地は、道路の形態が分かるようになり、4車線の

本道、取り付け道路と歩道部分など、舗装をすれば使えるような状態になっている箇所が増えてき

た。そこで、開通の見通しについて伺いたい。

**答** 上尾道路の事業者である国は、7月23日に記者発表を行った。それによると「未開通区間である県道上尾環状線から県道川越栗橋線へ至る4・7キロメートルの開通見通しは、平成26年度から平成27年度に変更する。変更の理由は環境に配慮しながら慎重な施工を行っているためである」とのことであった。なお、具体的な開通時期は、圏央道の開通見通しを踏まえて検討していくとのことである。

〜その他の質問〜

- ・防犯カメラを活用した安全・安心なまちづくりについて
- ・丸山公園の周辺整備について



工事が進む上尾道路予定地（大字畔吉地内）





無党派

深山 孝

### 多額の費用がかかる上水道施設の更新は

**問** 高度成長期に整備されたライフラインは、更新を行う時期に入り、多額の費用がかかることが問題視されている。更新に必要な費用が2020年から2025年までに年間1兆円規模に達し、水道施設の更新に必要な費用が足りなくなる見通しである。人口減や節水により設備の維持、運営に充てる料金収入も低迷しており、水道料金の値上げを迫られる自治体も相継いでいるが、今後の上水道事業における施設更新について、市の見解を伺いたい。

**答** 市の水道事業は昭和39年10月15日に給水を開始し、昭和50年度から平成元年度までに布設された水道管路は約283キロメートルと急激に増加した。そのため、今後の更新費用は急激に増加することが見込まれ、昨年度、アセットマネジメントシステムを構築し、更新に要する費用の算定を行ったところである。今後は、将来の水需要の減少などが予想されること

による施設規模の見直しや、震災に対する浄水場施設、管路施設の強靱化を視野に入れた更新計画を策定していきたいと考えている。

### その他の質問

- ・ 予防接種について
- ・ 空き家対策について
- ・ 財政問題について



上水道工事の様子



上尾政策フォーラム  
井上 茂

### 愛宕地区の大型店舗出店による影響と対応は

**問** 平成29年春にオープンする予定と発表された愛宕地区の大型店舗について、市内商業や周辺環境に与える影響、今後の手続き、市

### 議会映像をご覧いただけます

上尾市議会のホームページで、開催中の定例会、臨時会のライブ中継や、平成20年以降の定例会、臨時会の録画映像をご覧いただくことができます。

上尾市議会のホームページ  
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>



議会のライブ中継や過去の議会録画映像を見る場合は、上尾市議会トップページのここをクリック!

の対応を伺いたい。また、中山道をはじめ周辺道路の交通渋滞を招くが、市の対応を伺いたい。

**答** 現在、店舗の内容は不明だが、7万mを超える敷地面積から近隣商業に与える影響は大きいと認識している。今後の手続きとしては、設置者が県に計画概要書を提出した後、県は市に交通協議を要請し、関係行政機関との個別協議の内容や交通調査の結果について協議を行うことになる。大型店舗予定地の外周道路は、一方通行が多く、生活道路として使われており、買い物客の車両や搬出入の車両が入ると登下校の生徒の安全なども含め影響は多大である。現時点では交通処理計画が不明であるが、今後、設置者と協議する場合には、経済

産業省が定めた「大規模小売店舗を設置するものが配慮すべき事項に関する指針」などに基つき、設置者に適正な配慮を求めていく。

・ その他の質問  
・ 図書館について



交通渋滞する中山道 (左側は大型店舗予定地)



上尾政策フォーラム  
清水 義憲

西宮下中妻線の早期開通を

**問** 西宮下中妻線の開通について、10年の間、目に見える成果はわずかなものであった。しかし今、市の施策に大きな変化の兆しが見え、最終段階の全面開通に向け、少しずつ動き始めたことを実感できるようになってきた。西宮下中妻線のこれまでの歴史と経過、今後の予定について伺いたい。

**答** 西宮下中妻線は、県道川越上尾線の西宮下一丁目地内を起点とし、上尾環状線の中妻一丁目地内を終点とする総延長2820メートル、幅員16メートルの都市計画道路であり、昭和37年3月に都市計画決定された。柏座二丁目交差点からの延長345メートルは、平成18年3月に一部一方通行により供用を開始したが、平成25年度に実施したアンケートでも、4割近くの人々が不便に感じ、一方通行の解除を希望している。未整備部分については、平成27年度に、全体説明会を予定し、測量調査、予備設計に入っていきたいと考えている。

また、平成28年度以降に、工区ごとの説明会、測量調査、補償調査、用地買収、物件補償等を予定し、最終目標である工事着手へと進めていきたい。

その他の質問

- ・夢よもう一度：野球の強い上尾市について
- ・救命救急について他



一方通行の解除が望まれる西宮下中妻線

◆行財政一般



公明党上尾市議団  
長沢 純

中核市への移行を

**問** 地方自治法の一部改正により、

今まで人口30万人以上としていたものを20万人以上として、中核市と特例市の統合が行われた。県内でも、越谷市が2015年に、川口市が2018年に中核市に移行する。中核市への移行は、市民サービスの向上など多くのメリットがあると思われる。市が中核市へ移行する場合のメリット、デメリットについて伺いたい。また、中核市移行についての市の考えを伺いたい。

**答** 中核市へ移行した場合のメリットは、中核市が処理する事務が約2000件移譲されることから、市民に身近な市役所において、総合的かつ効率的にきめ細やかな行政サービスの提供や、自主的なまちづくりが可能になると言われている。一方、デメリットについては、権限移譲に対応するための体制づくりの面で多大な負担が発生することが挙げられる。移行までに要する人件費などの経費については、国や県からの財政的な支援措置はなく、市単独で負担することになる。現時点では、中核市への移行を考えてはいないが、今後とも国による都市制度の変更の行方や、既に中核市へ移行している市の状況、現在の特例市の動向などを注視していきたい。

を注視していきたい。

その他の質問

- ・消費者トラブル回避のために
- ・事故から市民をまもるために



公明党上尾市議団  
伊藤 美佐子

市内の連携強化で生活困窮者の支援を

**問** 全国の幾つかの自治体では、生活再建型滞納整理の取り組みとして、公金の滞納を、生活困窮のサインと捉え、市内の関係各課で多重債務者を見つけ、弁護士につなげて借金の解決、その後の生活の立て直しについてきめ細かく支援を行っている。市内連携ネットワーク機能の強化を図ることで、より効率的、効果的な支援になると考えるが、市の見解を伺いたい。

**答** 多重債務者などの生活困窮のサインは、保育料、市税、国民健康保険税の滞納において見つかることが多い。ご指摘のとおり、市のさまざまな部署において多重債務者を発見し、生活再建支援を図るために、必要な部門間の連携強化は大切である。市においても、納税課や生活支援課等で多重債務に困っている人を発見した場



合、消費生活センターを通し、必要に応じて弁護士などにつないでいる。今後、一人でも多くの多重債務で困っている市民を救うためには、市内の連携強化が必要と考えており、先進自治体の例などを参考に検討していきたい。

その他の質問

・市内における男女共同参画の推進体制の充実について



上尾政策フォーラム  
秋山 かほる

市のお知らせが届かない人の把握と対策を

問 自治会や町内会に加入していないために、防災対策や衛生など、重要なお知らせが届かない世帯がある。市には、すべての市民に対し、住民サービスを実施する義務があるので、早急にサービスから外れている人たちの数を把握し、対策を考えるべきであると考えている。この事について市の見解を伺いたい。

答 自治会、町内会への加入状況については、区長会連合会が調査を実施したところであるが、自治会の歴史の中で加入世帯の捉え方が違うため、正確な数の把握は

難しい。自治会、町内会は、法律に定めのない任意団体であるが、実際には自治会、町内会の協力のもとに行政サービスを提供していることから、自治会、町内会への加入促進のために行政も行動していかねばならないと考えている。市では、転入手続きをする人に対して、区長会連合会と共同で作成した加入促進チラシを配布し、自治会、町内会の存在や活動内容を紹介するなど、加入促進の一助になればと考えている。今後は、他市の事例などを研究し、課題解決に向けて、努力していきたい。

その他の質問

・介護保険、予防介護事業、地域支援事業の今後の予定について  
・市の未利用地について



新政クラブ  
大室 尚

パソコンのコスト削減対策を

問 ウィンドウズXPのOSのサポート終了時のように、市のパソコンを大量に入れ替える必要が出てくると、その年は、財政的に非常に厳しくなる。パソコンのコスト削減対策の一つとして、VDI



市内で使用しているパソコン

(※)を導入する自治体も出てきている。初期費用はかかるが、電子メールデータやメールアドレスの移行作業の必要がなく、セキュリティ面でも安心できるなどメリットが大きい。市内の構築も可能であると思うが、市の見解を伺いたい。

答 パソコンの入れ替えには、市が使用している業務システムが、OSのバージョンアップに対応できるか考慮する必要がある。VDIシステムについては、メリットもあるようだが、現行方式で要している経費との対比やセキュリティ面などを総合的に考慮し、先行自治体の例も参考にしながら検討したい。

※VDI：個々のデスクトップ環境を仮想化してサーバ上に集約したもの。利用者はネットワークを通じてサーバ上の仮想環境に接続して、デスクトップ画面を呼び出して操作する。

その他の質問

・総合防災計画について  
・上尾市のPRについて



新政クラブ  
星野 良行

(仮称)原市保育所複合施設の進捗状況は

問 (仮称)原市保育所複合施設について、平成24年12月議会の答弁では、建設予定地の場所、施設の規模、複合施設にする意義、建設までのスケジュールなどの概要説明があり、基本設計に入る段階で、保育所の保護者、地元区長、近隣住民の要望を聞く機会を設け、進捗よくに合わせて説明会を開催することであった。市は、答弁どおりの手続きを行ったか。また、地元説明会が出された要望を、十分取り入れることができたか伺いたい。

答 市では、平成25年度から基本設計を開始し、3月末に基本設計



(仮称)原市保育所複合施設完成予想図

を完成させたところである。基本設計の作成に際し、市では地元市議会議員をはじめ、原市区長会、白樺団地の役員、地元住民、保育所利用者に対し説明会を開催している。住民説明会では、主要道路から白樺団地ロータリーまでの歩道整備、道路の拡幅、同地点での信号機の設置、各種団体が使用する倉庫の移転などの要望があった。現在、実施設計にどこまで盛り込めるか検討中であるが、特に計画地周辺に与える交通事情を念頭に置き、設計を進めていく。

～その他の質問～

- ・ 中小企業振興について
- ・ 原市ふるさと緑の景観地について

◆教育



日本共産党  
上尾市議会議員団  
平田 通子

市民目線の図書館を

問

新たな図書館の建設候補地が、JR北上尾駅から徒歩18分の上平公園の隣接地に決定した。図書館サービス計画の「くらしに役立ち、

市民とともに歩む図書館」という基本理念にふさわしい図書館にするために、候補地の決定に当たり、市民の意見を聞く必要があると考える。市は、市民の意見を聞いているのか。また、意見を聞く機会はあるのか伺いたい。

答

候補地の選定については、確保できる敷地面積の問題、建築上の法的制限、交通の便、駐車場確保の問題、土地取得価格の問題など具体的に見通しが持てる候補地を選定する必要があるため、一般的に市民要望とはなじまないと考える。しかし、新たな図書館に関しては、利用者や関係団体の代表からなる上尾市中央図書館建設懇話会を設置し、市民の目線で意見を聴取している。今後も市民の声

年賀状などの禁止

政治家からのあいさつ状は、公職選挙法によって禁止されています。これは市議会議員が選挙区内(上尾市内)に住んでいる方に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことが禁止されているものです。

寄附行為の禁止

政治家の寄附行為は、公職選挙法に基づき禁止されています。特にこれからの時期は各地区で祭りやスポーツ大会、イベントなどが開催されますが、議員の各種寄附、差し入れは禁止されるとともに、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

を取り入れて、図書館の建設を進めていきたいと考えている。

～その他の質問～

- ・ 空き家の現状と有効活用のために
- ・ 学習支援「アスポート」事業の存続と拡充を他



上尾政策フォーラム  
池野 耕司

中学校全国大会等出場者への助成は

問

部活動において努力した結果、生徒が全国大会や関東大会に出場する学校に、交通費や宿泊費を補助することは、運動部のレベルを向上させ、教育力を推進する点からも有意義である。また、厳しい経済環境の中、保護者の負担軽減を考慮することも大切である。県

と市の補助金の状況と補助金額の実績および市の補助金制度について伺いたい。

答

補助金について、県中学校体育連盟は、往復の交通費の4割分と2000円の激励費を支給しており、市は、実費の交通費の6割分、一人一泊1万円までの宿泊費、大会参加にかかる費用を支給している。また、県と市の補助総額は、平成24年度は152万2010円、平成25年度は29万2700円であった。なお、市の補助金制度については、上尾市補助金等交付規則に基づき、上尾市立中学校全国・関東大会選手派遣費補助金交付要綱で定められている。

～その他の質問～

- ・ 学校施設開放について
- ・ ガン対策の推進について





公明党上尾市議団  
前島 るり

## 全ての子ども達が家庭状況に左右されず学べる環境を

**問** 政府は閣議決定において、子どもが家庭環境などに左右されず学力が保障されるよう、習熟度別指導や、放課後の補習の取り組みのため、教職員の指導体制を充実させるとした。市でも、国が打ち出した大学生や教員OBら地域住民との協働で行う「無料学習教室」を提案するが市の見解を伺いたい。また、市の入学準備金については学生本人を貸付の対象者とし、申請・貸付時期を現在の入試状況に合わせて改善することなどを提案するが、市の見解を伺いたい。

**答** 無料で学習支援をする塾については、多くの指導員の確保や開設施設等の管理面、通塾する生徒の安全面などの課題から、現在のところ考えていない。また奨学金や入学準備金については、返済が困難との相談があった場合に、経済状況などを確認し、その人に合った計画を立てているところである。県内には、入学準備金を学生本人に貸し付けている市もあり、今後

検討していきたい。また、市の申請時期は、1月上旬であるが、今後、早期の入学金支払い時期に対応できるように検討する。

### その他の質問

・子ども家庭サービスの供給シテムについて



新政クラブ  
田中 元三郎

## 貧困の子どもたちへの就学援助の現状は

**問** ある研究者によると「就学援助費を受けている児童生徒の多い学校ほど成績が振るわず、学校単

位によって成績や学力に差が見られる」ということである。市ではこのような傾向があるか伺いたい。

また、学生に進学を諦めさせないためにも、入学準備金や奨学金貸付制度を実施していると思うが、その現状について伺いたい。

**答** これまでの学力調査結果から、就学援助費を受けている児童生徒の多い学校と少ない学校で学力に差があるとは言えない。市の入学準備金や奨学金の貸付制度は、有用な人材を育成することを目的に、進学の意欲を有しながら、経済的な理由により修学困難な者に対し、無利子で貸し付けを行うものであ

る。貸し付けの際は、市税の完納や連帯保証人の設定など数項目の条件を満たす必要があり、審査を行った上で貸し付けをしている。

入学準備金は、高等学校などで、国公立20万円、私立30万円、大学などで国公立30万円、私立50万円の貸付額となっている。奨学金は、正規の修業期間において、国公立、私立ともに高等学校などで月額1万円、大学などで月額2万円の貸付額となっている。

### その他の質問

・中小企業支援策について  
・上尾市におけるTPP問題について

## 今議会で決まった人事

### 教育委員会委員に

おかの えいじ 氏  
岡野 栄二

教育委員会委員岡野栄二氏の任期は平成26年9月30日で満了となるため、同氏を再び任命することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

### 固定資産評価審査委員会委員に

いまむら きみのり 氏  
今村 公宜

固定資産評価審査委員会委員 今村公宜氏の任期は平成26年9月30日で満了となるため、同氏を再び選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

### 固定資産評価審査委員会委員に

きたがわ かずたか 氏  
北川 和孝

固定資産評価審査委員会委員 濱野秀彦氏の任期は平成26年9月30日で満了となるため、後任として北川和孝氏を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

### 人権擁護委員に

まつざわ みちこ 氏  
松澤 美智子

人権擁護委員 松澤美智子氏の任期は平成26年12月31日で満了となるため、同氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。



12月定例会日程(案)

- 12月 1日 開会
- 4日 質疑、委員会付託
- 5日 委員会  
(総務、都市整備消防)
- 8日 委員会  
(文教経済、健康福祉)
- 10日~12日,15日,16日  
一般質問
- 19日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動 H26.7.16~H26.10.15



▲健康福祉常任委員会の様子



▲総務常任委員会の様子

**\*次回の12月定例会は、12月1日(月)に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、11月25日(火)までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っています。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

**上尾市議会HPアドレス**  
<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>

議会報編集委員会

- 委員長 星野 良行
- 副委員長 小川 明仁
- 委員 大室 尚
- 委員 斉藤 哲雄
- 委員 前島 るり
- 委員 浦和 三郎
- 委員 鈴木 茂
- 委員 平田 通子

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	7/25 9/4	・所管事務調査「公共施設マネジメント推進事業について」 ・9月定例会提出議案3件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	7/9 8/11 9/5 9/5	・所管事務調査「通学路の状況調査」 ・所管事務調査「通学路の状況について」 ・9月定例会提出議案2件を審査 ・所管事務調査「通学路の安全対策について」
都市整備消防常任委員会	7/24 8/29 9/4	・行政視察(太田市) ・正・副委員長の互選 ・9月定例会提出議案3件を審査
健康福祉常任委員会	9/5	・9月定例会提出議案13件を審査
議会運営委員会	8/26 8/29 9/3 9/19	・議会運営について協議 ・議会運営について協議 ・議会運営について協議 ・議会運営について協議
議会改革特別委員会	9/18 10/15	・一般質問の一問一答式について 他 ・一般質問実施要領について 他
決算特別委員会	9/3 9/26 9/29 9/30 10/2 10/3	・正・副委員長の互選及び審査方針の決定 ・一般会計のうち歳入及び歳出(総務関係)について審査 ・一般会計のうち歳出(健康福祉、環境経済関係)について審査 ・一般会計のうち歳出(教育、都市整備消防関係)について審査 ・財産に関する調書、特別会計について審査 ・水道事業会計について審査、総括
議会報編集委員会	7/17 8/25 9/19	・「あげお議会だよりNo168」の内容について協議 ・行政視察について協議 ・「あげお議会だよりNo169」の内容について協議

意見書2件を原案可決

9月定例会最終日の9月19日、議員提出議案として意見書5件を提出し、2件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

提出先→内閣総理大臣 総務大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣  
 国家公安委員会委員長 衆議院議長 参議院議長

◆軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書

提出先→内閣総理大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣 衆議院議長  
 参議院議長